

県による国保データベース（KDB）システム等を活用した医療費分析について

1 目的

香川県は、県民一人当たりの医療費が全国平均を大きく上回っており、医療費適正化を図る必要がある。また、死因の約5割が生活習慣病によるものであり、生活習慣病の予防や改善を図ることが重要である。

そこで、市町が、限られた予算、人員において、より効果的・効率的な保健事業を実施することができるよう、県において国保データベース（KDB）システム等を活用した医療費分析を行うとともに、分析結果の見える化を図り、市町に提供するもの。

2 概要

(1) 指定する地区割において、診療報酬明細書データ及び特定健診結果データを用いた相関調査及び分析を行う。

- ・医療費分析実施市町：被保険者数が5,000人以上の市町のうち2保険者以上を予定
- ・指定する地区割：郵便番号により小学校区、中学校区等に区分することを想定
- ・分析項目：特定健診の健診結果及び質問項目と医療費データのクロス集計
医療費上位の疾病や高医療費の要因となる疾病の受診状況の分析

(2) (1) で得られた結果に基づき市町が保健事業を実施するにあたって、地域住民に保健事業の必要性を訴求する資料の作成を行う。

- ・訴求力のある資料とは、指定した地区割で白地図を塗り分ける等により、より簡単に視覚的に訴えるものを想定

(3) 医療費分析を行うに当たって、保険者に対して必要に応じてヒアリングを実施する。

3 予算額

12,000千円

4 実施方法

本分析業務については、診療報酬明細書データ及び特定健診結果データ等の多量の情報を分析する必要があり、高度の専門性（知識、技術、経験）を有する者でなければ、業務の目的を達成できないと考えられることから、企画提案方式により事業の受託者の公募を行っている。